

事業所名	グループホーム グリーンハウス ※
日付	平成19年10月26日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士・認知症ケア専門士 訪問介護員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります！)※	

## 2. 評価結果 (詳細)

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	理念である「明るく・楽しく・あたたかく・みんな楽しく」をモットーに、共同生活の中でその人らしさを大切にした支援を心がけ、当たり前前の日常生活をお互い助け合いながら日々ゆったりと安心して暮らせるグループホームの実現と、地域との交流を深めてより開放されたグループホームを目指しています。		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	広いリビングで一日の大半を職員と明るく楽しく過ごされています。共同生活を営む中で、一人ひとりのペースに沿った介助を心がけている。入居者の出来ること、やりたい事を見つけ出してやる気に繋げていき充実した日々を過ごしてもらえよう支援しています。		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人ですることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

## 1. 評価結果の概要

<p><b>講評</b></p> <p>全体を通して (特に良いと思われる点など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「グループホーム グリーンハウス」は2ユニット型の平屋で、近くにはバス停やスーパー、神社などがあり、いつでも訪問しやすい環境にある。リビングは天井が高く自然の光が差し込む構造になっており、明るく開放的である。また、ホーム内は季節の飾り付けがしてあり家庭的な雰囲気作りがされている。</li> <li>・常に入居者のペースに沿った支援を心がけている。個々の経験を活かして、一人ひとりに合った対応を心がけている。コミュニケーションを大切にして生活圏を視野に入れた支援が行われており、楽しい時間を作ってやる気と喜びを引き出す工夫がされている。</li> <li>・食事の面も栄養士の指導の下、バランスの良い食事が提供されており、入居者の健康面でも家族に喜ばれている。</li> </ul> <p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>特にありません。</p>
---

### III ケアサービス (つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	入居者とのコミュニケーションを大切にして出来るだけ声かけをしてやりたい事・出来ることを見つけ出し、昔得意だった事を日常の中に取り入れて生甲斐のある生活が送れるように援助している。また、居室へ入るときは必ず声かけをしてその都度了解してもらって出入りする様に心がけている。排泄・食事・入浴など、日常のさまざまな場面でプライバシーに配慮した支援に取り組んでいる。		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	外部の研修に参加した職員は、他の職員に伝達講習をして全体のレベルアップを図っている。		
	また、ホームの玄関に意見箱を設置し、外部からの訪問者の意見を参考にしてサービスの質の向上と改善に努めている。日頃の些細なトラブルもその都度話し合い、課題の解決に努めている。		